

科目名	プログラミング演習ⅡB							
科目名(英)								
単位数	6単位		時間数	90時間		担当者	川野 啓祐・西野 直幸	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年	情報システム科プログラミング専攻2年・情報システム専攻科システムエンジニア専攻2年・情報工学科高度ITシステム専攻2年・情報システム科プログラミング専攻アドバンスコース1年・情報システム専攻科システムエンジニア専攻アドバンスコース1年							
授業概要	Java言語の基礎知識を修得し、実際の開発時に使用される実践的な知識を学び活用できるようになる。SDK8以降にJavaに追加された開発技術や技法を理解し、ラムダ式・ストリームなどモダン記法に基づいたソースコードを読解・記述できることを目指す。							
	iCDタスクコード		DV05.8.1, DV05.8.2, DV05.8.3					
授業形態	講義：△		演習：○		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標		
	○	◎				Java言語の技法(ラムダ式や関数オブジェクト、ストリームなど)とその考え方を説明できる。		
		◎				Java言語の技法(ラムダ式や関数オブジェクト、ストリームなど)を利用したソースコードが解読できる。		
	○	◎				PHPなど他言語に通じるモダンなオブジェクト指向プログラミングの考え方を理解し応用することができる		
テキスト・教材 参考図書	Java実践編 アプリケーション作りの基本(翔泳社)							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1-3	前期復習課題				復習を行うこと		
	4-6	多態性の復習				復習を行うこと		
	7-9	演習イベント、確認テスト						
	10-15	コレクション						
	16-21	ラムダ式				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(0.5時間)		
	22-27	ストリーム						
	28-33	入出力						
	34-39	スレッド・ガベージコレクション						
	40-42	最終課題1						
	43-45	最終課題2、確認テスト				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)課題演習を実施する。(3)確認テスト・小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験	◎	◎		○		30%	
	課題・レポート	◎	◎		○		40%	
	確認テスト・小テスト				◎		20%	
	受講状況				◎		10%	
履修上の注意	PC持参のこと。課題・レポートについては、期限を守らない場合や基準を満たさない場合は、減点または補習または追加課題を設ける場合がある。再試験は実施しない							

科目名	Webプログラミング演習ⅡB											
科目名(英)												
単位数	6単位		時間数		90時間		担当者		村上 香代・染矢 裕美子			
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験					
対象学科・学年	情報システム科プログラミング専攻2年・情報システム専攻科システムエンジニア専攻2年・情報工学科高度ITシステム専攻2年・情報システム科プログラミング専攻アドバンスコース1年・情報システム専攻科システムエンジニア専攻アドバンスコース1年											
授業概要	前期に引き続き、PHPを活用したWebアプリケーション開発の修得を目指す。より実践的でより効率的なプログラミング開発を行い、技術力の習得を目指す。本格的なWebアプリケーションを作成する。											
	iCDタスクコード		DV08.5.3, DV08.5.4, DV08.6.1									
授業形態	講義:		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる形態:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	◎	◎				PHPによりデータベースを操作できる						
		◎	○			本格的なWEBアプリケーションを作成できる						
テキスト・教材 参考図書	確かな力が身につくPHP「超」入門(SBクリエイティブ)、たった1日で基本が身に付く! Git超入門(技術評論社)											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1-3	Chapter6 データベースの基本と操作(1)、(2)の復習					しっかり復習しておくこと					
	4-5	Gitの基本、Gitの使い方										
	6-8	Chapter6 商品一覧を表示する・Chapter6 商品データを検索する										
	9-11	Chapter6 商品データを追加する・Chapter6 商品データを更新する										
	12-14	Chapter6 商品データを削除する・Chapter6 まとめ										
	15-17	確認テスト、Chapter7 商品や顧客などの情報を格納するデータベース					確認テストの勉強をしておくこと					
	18-20	Chapter7 サイトへのログイン・ログアウト処理										
	21-23	Chapter7 会員情報の登録										
	25-26	Chapter7 ショッピングカート、お気に入りに商品に登録する										
	27-29	確認テスト、総合演習1					確認テストの勉強をしておくこと					
	30-32	総合演習2										
	33-35	総合演習3										
	36-38	総合演習4										
	39-41	総合演習5										
	42-45	総合演習6					課題を提出すること					
評価方法	(1)確認テスト(筆記)を数回実施する。(2)課題演習を数回実施する。(3)受講状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	確認テスト	◎		◎								30%
	課題演習			◎		○		○				50%
	受講状況							◎				20%
履修上の注意	再試験は実施しない。											

科目名	Webフロントエンド演習B							
科目名(英)								
単位数	4単位		時間数	60時間		担当者	小渕 洋子・村上 香代・ 前園 勝稔・野馬 克則	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年	情報システム科プログラミング専攻2年・情報システム専攻科システムエンジニア専攻2年・情報工学科高度ITシステム専攻2年・ 情報システム科プログラミング専攻アドバンスコース1年・情報システム専攻科システムエンジニア専攻アドバンスコース1年							
授業概要	Web開発で必要となるHTML・CSSの基礎を習得する。基本的なページを作成するためのタグ、Web開発で重要なフォーム系のタグ、マルチデバイスを考慮したレイアウト、ライブラリを使用し効率的なWebページの作成を行う。							
	iCDタスクコード		PL03.3.1, PL03.3.2					
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○	◎				CDNを利用してvueオブジェクトを読み込み操作することができる。		
	○	◎				仮想DOMとvueのレンダリングの仕組みを理解し、webアプリを動的に変えることができる。		
	○	◎				vueのデータとイベントをバインドして、イベントに反応したwebアプリを実装できる。		
テキスト・教材 参考図書	たった1日で基本が身に付く! Vue.js 超入門(技術評論社)							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1 2	開発環境設定、Vue.jsの基本(1) インスタンス作成						
	3 4	Vue.jsの基本(2) バインディングとレンダリングのしくみ						
	5 6	イベントハンドリング						
	7 8	復習課題、条件付きレンダリング(1) 条件分岐と算出プロパティ						
	9 10	条件付きレンダリング(2) 双方向バインディング、復習課題						
	11 12	リストレンダリング(1) v-forと配列						
	13 14	リストレンダリング(2) ナビゲーション、復習課題						
	15 16	バインディング(1) スタイルバインディング						
	17 18	バインディング(2) クラスバインディング、復習課題						
	19 20	TODOアプリ作成(1) 追加から一覧表示						
	21 22	TODOアプリ作成(2) 機能の完成とスタイル設定						
	23 24	画像ビューワー作成(1) サムネイルコンポーネント						
	25 26	画像ビューワー作成(2) モーダルコンポーネント						
	27 28	応用課題						
	29 30	総復習課題						
	評価方法	(1)課題を数回実施する。(2)授業で取り組む演習の提出状況を評価する。(3)確認テスト(実技)を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		課題演習	○	◎		○		50%
		受講状況	○	◎		◎		20%
確認テスト(実技)		○	◎		○		30%	
履修上の注意	再試験は実施しない。							

科目名	システム開発演習 I						
科目名(英)							
単位数	3単位		時間数	90時間		担当者	西野 直幸・川野 啓祐・村上 香代・前園 勝稔・ 野馬 克則・小淵 洋子・染矢 裕美子
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	情報システム科プログラミング専攻2年・情報システム専攻科システムエンジニア専攻2年・情報工学科高度ITシステム専攻2年・ 情報システム科プログラミング専攻アドバンスコース1年・情報システム専攻科システムエンジニア専攻アドバンスコース1年						
授業概要	簡易的なWebシステムをチームにより開発する。設計書作成から構築までの開発プロセスを学習し、チームのスケジュール管理や情報共有の重要性についても体験する。設計、実装について外部企業からの助言、評価を得る。						
	iCDタスクコード		DV08.6.1, DV08.6.2, DV08.6.3				
授業形態	講義：△		演習：△	実習：○	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		◎				与えられたシステム要件を理解し、画面設計書を作成できる。	
		◎				与えられたシステム要件を理解し、データベース設計書を作成できる。	
		◎				作成した設計書を元に、システムを作成できる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナル教材						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1-5	オリエンテーション、企画検討					
	6-8	調査、企画書作成					
	9-11	機能一覧作成					
	12-14	画面設計書作成					
	15-16	設計レビュー					
	17-20	データモデル設計書作成					
	21-24	プロトタイプ作成					
	25-26	設計レビュー					
	27-37	構築					
	38-39	発表準備					
	40-42	成果物発表(実装レビュー)					
	43-45	成果物最終提出作業、個人レポート作成					
	評価方法	(1)期限を指定した成果物の提出を数回実施する(2)レビューを3回実施する(3)個人レポートを1回実施する (4)公欠などやむを得ない理由以外での企業レビューの欠席は大幅な減点とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
成果物			◎		○		30%
レビュー			○		◎		30%
レポート					◎		20%
受講状況					◎		20%
履修上の注意	再試験は実施しない。PC持参を持参すること。 レポートや成果物について、提出期限の遅延や基準を満たさない場合は減点・補習・追加課題を行う場合がある。 企業レビューは公欠などやむを得ない理由を除き、必ず参加すること。						

科目名	ビジネスコミュニケーションⅡ											
科目名(英)												
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		川原ユウジ			
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験					
対象学科・学年	情報システム科プログラミング専攻2年・情報システム専攻科システムエンジニア専攻2年・情報工学科高度ITシステム専攻2年・情報システム科プログラミング専攻アドバンスコース1年・情報システム専攻科システムエンジニア専攻アドバンスコース1年											
授業概要	プレゼンテーション技法の基礎を正しく理解し、「話す力」、「伝える力」を高める実践的な演習を行う。											
	iCDタスクコード		該当なし									
授業形態	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
		○		○		プレゼンテーション技法の基礎を説明できる						
		○		○		相手に伝わることを意識したプレゼンテーションができる						
テキスト・教材 参考図書	前田 鎌利 『プレゼン資料のデザイン図鑑』 ダイヤモンド社、2019											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	プレゼンテーションとは何か										
	2	プレゼンテーションツール作成の基礎知識										
	3	企画立案・情報収集法										
	4	プレゼンテーションツール別プレゼンテーションの留意点										
	5	①プレゼン演習 チームに分かれて企画立案・情報収集					作成準備を事前に行っておくこと。					
	6	①プレゼン演習 発表会 <今の気持ちを正直に話す>					発表練習を事前に行っておくこと。プレゼンシート提出。					
	7	②プレゼン演習 チームに分かれて企画立案・情報収集					作成準備を事前に行っておくこと。					
	8	②プレゼン演習 発表会 <わかりやすく話す>					発表練習を事前に行っておくこと。プレゼンシート提出。					
	9	③プレゼン演習 チームに分かれて企画立案・情報収集					作成準備を事前に行っておくこと。					
	10	③プレゼン演習 発表会 <自由に発想する>					発表練習を事前に行っておくこと。プレゼンシート提出。					
	11	④プレゼン演習 チームに分かれて企画立案・情報収集					作成準備を事前に行っておくこと。					
	12	④プレゼン演習 発表会 <売れるプレゼン>					発表練習を事前に行っておくこと。プレゼンシート提出。					
	13	⑤プレゼン演習 チームに分かれて企画立案・情報収集					作成準備を事前に行っておくこと。					
	14	⑤プレゼン演習 発表会 <ネットで集めたデータを分析する>					発表練習を事前に行っておくこと。プレゼンシート提出。					
	15	まとめ										
評価方法	(1)レポートまたは課題を数回実施する。(2)プレゼンシートを評価する。(3)発表を評価する。(4)受講状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	課題・レポート提出				◎				○		30%	
	プレゼンシート				◎						30%	
	発表				◎				○		20%	
	受講状況								◎		20%	
履修上の注意	再試験は実施しない。											

科目名	プログラミング基礎演習B									
科目名(英)										
単位数	2単位			時間数	30時間		担当者	西野 直幸		
実施年度	2023年度			実施時期	後期		担当者実務経験			
対象学科・学年	情報システム科プログラミング専攻2年・情報システム専攻科システムエンジニア専攻2年・情報工学科高度ITシステム専攻2年・情報システム科プログラミング専攻アドバンスコース1年・情報システム専攻科システムエンジニア専攻アドバンスコース1年									
授業概要	2年生前期で実施したプログラミング演習を振り返り、再度PHPプログラミングの基礎を学ぶ。PHP言語の基本文法を学び、基礎的なプログラムの作成できるようになることを目標とする。									
	iCDタスクコード			DV08.2.1, DV08.5.1, DV08.5.2, DV08.5.3, DV08.5.4						
授業形態	講義:			演習:	○		実習:	実技:		※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	◎	○				Webアプリケーションの仕組みを説明することができる				
	○	◎				PHPの基本的な知識(基本構文、制御構文等)を利用したプログラムを作成できる				
		◎				PHPフォームを利用した入出力操作のプログラムを作成できる				
テキスト・教材 参考図書	確かな力が身につくPHP「超」入門(SBクリエイティブ)									
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示		
	1	Webサーバの仕組みについて								
	2-3	リクエスト・レスポンス、HTMLの復習								
	4-5	PHPフォーム作成、文字コード								
	6-7	乱数、基本ステートメント								
	8-9	フォーム操作 基礎								
	10-11	フォーム操作 応用								
	12-13	フォーム操作 制御構造								
	14-15	課題作成								
評価方法	(1)定期試験を実施する。(2)課題またはレポートを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	定期試験	○	◎				50%			
	課題・レポート	○	◎		○		30%			
	受講状況				◎		20%			
履修上の注意	PC持参のこと。課題・レポートについては、期限を守らない場合や基準を満たさない場合は、減点または補習または追加課題を設ける場合がある。									

科目名	一般教養ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	畠添 正和
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	情報工学科 2年・情報システム専攻科 2年・情報システム科 2年 情報システム科アドバンスコース1年、情報システム専攻科アドバンスコース1年						
授業概要	就職筆記試験に関して以下の対策を行う。 ①「SPIテスト」前期から継続し、数学分野(未実施分)を含め、解説&練習問題を行う ②「CAB・GABテスト」テキストに沿って、解説&練習問題を行う ⇒ 授業内評価テスト(2回)を実施する ③ 漢字対策：麻生塾の「ミニテスト」を利用し、漢字の練習 ⇒ 確認を行う						
	iCDタスクコード		該当なし				
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				言語分野・非言語分野の問題に対して解答を説明できる	
テキスト・教材 参考図書	最新最強のSPIクリア問題集(成美堂出版) 最新最強のCAB・GAB超速解法(成美堂出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	CAB・GAB対策(その1)					
	2	CAB・GAB対策(その2)、漢字対策(その1)					
	3	CAB・GAB対策(その3)、漢字対策(その2)					
	4	CAB・GAB対策(その4)、漢字対策(その3)				授業内評価テストの範囲を復習しておくこと	
	5	授業内評価テスト①(CAB一連テスト)、漢字対策(その4)					
	6	CAB・GAB対策(その5)、漢字対策(その5)				授業内評価テストの範囲を復習しておくこと	
	7	授業内評価テスト②(GAB一連テスト) SPI数学分野及び国語分野の対策(その1)、漢字対策(その6)					
	8	SPI数学分野及び国語分野の対策(その2)、漢字対策(その7)					
	9	SPI数学分野及び国語分野の対策(その3)、漢字対策(その8)					
	10	SPI数学分野及び国語分野の対策(その4)、漢字対策(その9)					
	11	SPI数学分野及び国語分野の対策(その5)、漢字対策(その10)					
	12	SPI数学分野の対策(その6)、漢字対策(その11)					
	13	SPI数学分野の対策(その7)及びSPI模擬テスト(textの別冊1)					
	14	SPI性格検査、CAB・GAB性格検査OPQ					
	15	SPI数学分野及びSPI国語分野の復習、定期試験対策					
評価方法	(1)定期試験を実施する。(2)授業の中で授業内評価テスト(30分間・2回)を実施する。授業の中で、SPI国語分野の補完として、漢字対策を実施する。(3)受講状況进行评估する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	授業内評価テスト	◎	◎				30%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意							

科目名	クラウド											
科目名(英)												
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		打越 直美			
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験					
対象学科・学年	情報システム科2年・情報システム専攻科2年・情報工学科2年・ 情報システム科アドバンスコース1年・情報システム専攻科アドバンスコース1年											
授業概要	クラウドの概念、AWSの主要サービス、料金、セキュリティ、アーキテクチャ、サポートに関する全体像を説明することができるようになる。											
	iCDタスクコード		該当なし									
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○				クラウドに関する基本用語、仕組みを説明できる。						
	○	○				IAM、VPC、EC2、S3、EFS、RDSの基本用語、仕組みを説明できる。						
	○	○				IAM、VPC、EC2、S3、ロードバランサ、オートスケーリングの基本的な設定ができる。						
テキスト・教材 参考図書	AWS Academy Cloud Foundations (AWS)											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	コース紹介、モジュール1：クラウドのコンセプト										
	2	モジュール2：クラウドエコノミクスと請求										
	3	モジュール3：AWS グローバルインフラストラクチャの概要										
	4	モジュール4：クラウドのセキュリティ										
	5,6	モジュール5：ネットワークとコンテンツ配信										
	7,8	モジュール6：コンピューティング										
	9,10	モジュール7：ストレージ										
	11,12	モジュール8：データベース										
	13,14	モジュール9：クラウドアーキテクチャ										
	15	モジュール10：Auto Scalingとモニタリング										
	評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)課題・レポートを数回実施する。(3) 受講状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
定期試験		◎		◎								40%
課題・レポート		◎		◎				○				30%
受講状況								◎				30%
履修上の注意												

科目名	ビジネスマナー						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	徳島 欽子	
実施年度	2023年度		実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	情報工学科 4年・情報システム専攻科 3年・情報システム科 2年 情報システム科アドバンスコース2年、情報システム専攻科アドバンスコース3年						
授業概要	ビジネスシーンに必要な名刺交換、電話応対などの基本的なマナーだけではなく、冠婚葬祭や食事の仕方などのその場に応じたマナーを学ぶ。						
	iCDタスクコード		該当なし				
授業形態	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		社会人として相応しいビジネスマナーを理解することができる。	
		○		○		社会人として必要な電話応対ができる。	
		○		○		冠婚葬祭のマナー、日常生活でのマナーを理解し実践できる。	
テキスト・教材 参考図書	入社1年目ビジネスマナーの教科書(プレジデント社)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	訪問のマナー ～好印象を与える自己紹介の仕方(1)				自己紹介ができるよう準備をすること	
	2	～好印象を与える自己紹介の仕方(2)					
	3	基本マナー ～テーブルマナー					
	4	基本マナー ～言葉使い(1)					
	5	基本マナー ～言葉使い(2)					
	6	電話応対 ～報連相 ・電話応対の基本・電話の受け方の流れ ・かけ方の流れ					
	7	～電話の受け方演習、取次ぎ方演習				電話応対の流れを確認しておくこと	
	8	～電話のかけ方の流れ・かけ方演習					
	9	～電話応対テスト(1)					
	10	～電話応対テスト(2)					
	11	ビジネス文書のマナー				ビジネス文書を確認しておくこと	
	12	冠婚葬祭 ～冠婚葬祭のマナー					
	13	基本マナー ～名刺交換のマナー(1)					
	14	基本マナー ～名刺交換のマナー(2)					
	15	～組織と人間関係 ・総復習				全体の復習をしておくこと□	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業中に確認テスト(実技試験含む)を実施する。(3)受講状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	◎		○		55%
	確認テスト	○	○		◎		25%
	受講状況				○		20%
履修上の注意							

科目名	データ分析基礎									
科目名(英)										
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		山下 文夫	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験			
対象学科・学年	情報システム科プログラミング専攻2年・情報システム専攻科システムエンジニア専攻2年・情報工学科高度ITシステムエンジニア専攻2年・情報システム科プログラミング専攻アドバンスコース1年・情報システム専攻科システムエンジニア専攻アドバンスコース1年、情報システム科ネットワークエンジニア専攻2年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻2年・情報工学科高度ネットワーク・セキュリティ専攻2年・情報システム科ネットワーク専攻アドバンスコース1年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻アドバンスコース1年									
授業概要	統計学分野の用語や考え方について体系的に学習し、データ分析を行うための基礎知識を学ぶ。									
	iCDタスクコード		AI03.4.2							
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○					統計学の分野の各用語を説明できる				
	○	○				統計学の分野の各問題を解くことができる				
テキスト・教材 参考図書	阿部 真人 『データ分析に必須の知識・考え方 統計学入門』 ソシム、2021									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	統計学とは								
	2	母集団と標本								
	3	統計分析の基礎 データの種類、統計量								
	4	統計分析の基礎 確率								
	5	推測統計								
	6	信頼区間								
	7	仮説検定								
	8	仮説検定の計算					計算問題を復習すること			
	9	様々な仮説検定								
	10	回帰と相関								
	11	統計モデリング								
	12	仮説検定における注意点								
	13	因果と相関								
	14	ベイズ統計								
	15	統計モデル・機械学習モデル・数理モデル								
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)確認テストを実施する。(3)受講状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	定期試験	◎	◎				50%			
	確認テスト	◎	◎				30%			
	受講状況				○		20%			
履修上の注意										

科目名	情報処理試験秋対策						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	20時間	担当者	川野 啓祐	
実施年度	2023年度		実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	情報システム科2年・情報システム専攻科2年・情報工学科2年・ 情報システム科アドバンスコース1年・情報システム専攻科アドバンスコース1年						
授業概要	経済産業省主催 情報処理技術者試験の出題範囲に準拠し、各受験区分のレベルに応じた用語や知識の習得を行う。さらに演習問題を使用し、実践的な解答方法の演習を行う。						
	iCDタスクコード		該当なし				
授業形態	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				試験範囲内の専門用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				試験範囲内における様々なIT技術に関する仕組みについて説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	各受験区分で指示があります。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1～5	IPAが提示するシラバスに掲載されている用語を理解し覚える。覚えた用語の定着のために、午前問題を中心とした演習を実施する。				分からなかった部分の復習をしておくこと。	
	6～10	理解し、覚えた用語を実践的に使用する演習を、基礎的な難易度の午後問題を中心に実施する。				分からなかった部分の復習をしておくこと。	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。ただし、国家試験を定期試験とみなす。 (2)課題・レポートを数回実施する。(3)受講状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	◎				55%
	課題・レポート	○	◎				25%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	再試験は実施しない						